

第 22 回日本眼感染症学会

日時：1985 年 7 月 13 日(土)、14 日(日)

場所：農協ホール（東京都千代田区大手町 1-3-4）

会長：北野周作 日本大学医学部眼科学教室

7 月 13 日(土)9:00-17:10

■ 一般口演

1. 外眼部感染症検出菌の検討
山村敏明、大山智子、富井隆夫、佐々木一之（金沢医大）
2. 房水および涙液内移行からみた角膜感染症に対する抗生剤の選択に関する検討
葉田野 博、馬場安彦（いわき市立常磐病院）
3. 外眼部感染症に対する Fosfomycin 内服療法－細菌学的及び臨床的検討－
的場美穂（和歌山医大）
4. 抗生剤の結膜嚢内濃度測定法の検討
福田正道、富井隆夫、都築春美、佐々木一之（金沢医大）
5. A 群レンサ球菌細胞壁ペプチドグリカンによる眼炎症実験
高野貞綾、渡辺千恵美、小椋祐子、宮永嘉隆（女子医大第二病院）
6. *Propionibacterium acnes* による実験的眼内炎
－ステロイド投与量増加（結膜下注射および筋注）の影響－
坂上富士男、永井重夫、大石正夫、大桃明子、米山恵子（新潟大）
7. 細菌性角結膜感染症に対する有効で簡便な持続点滴洗眼療法
三木弘彦（関西医大）
8. 角膜穿孔、水晶体内異物により失明した症例
岡野智文、木村 亘、木村 徹（木村眼科内科病院）、
永岡尚志（江田島地区病院）
9. アルジェリア オラン市における涙嚢炎からの緑膿菌検出について
谷口定路、秦野 寛、榊田英郎、石川凜子（横浜市大）、
神永陽一郎（同中央検査部）
10. ウサギ緑膿菌性角膜炎の蛍光抗体法による菌体の観察
早川 薫、河野宗浩、佐々木隆敏、田中直彦（横浜市大）
11. 当教室における角膜真菌症 18 例の検討
塩田 洋、内藤 毅、兼松誠二、新田敬子、三村康男（徳島大）
12. 全身疾患に伴った転移性真菌性眼内炎の 7 例について
塩谷芳正、三橋 亨（日本大）
13. 同時期に発生した視神経炎の 5 症例

横山寿光、矢野啓子、矢田浩二、徳田久弥 (杏林大)

14. 単純ヘルペス性角膜炎の統計的観察
北川和子、都築春美、佐々木一之 (金沢医大)
15. 初感染と考えられる単純ヘルペスウイルス眼感染の 2 症例
田中真紀子、稲村幹夫、石川義弘、若林紀子、河野宗浩 (横浜市大)
鳥羽和憲 (同公衆衛生)
16. 角膜由来単純ヘルペスウイルスに対する 1 型、2 型モノクローナル蛍光抗体
法の検討
高村悦子、金子行子 (女子医大)
17. 眼疾患由来ウイルス株の分子疫学—HSV 株間の各種制限酵素による比較—
青木功喜 (札幌市)、坂岡 博、青森継充 (北海道大歯学部細菌)
18. 糖尿病と実質型角膜ヘルペス
末広龍憲、坂田広志、丹京信也、平川裕二 (広島大)
19. ヘルペス性脈絡網膜炎の発症におけるウイルス感染リンパ球の役割
—新生家兎モデルにおける検討—
大橋裕一 (大阪大)、Jang O. Oh、Susan Tung-Ou
(Francis I. Procter Foundation)
20. 角膜における HSV 潜伏感染の証明
下村嘉一、井上幸次、切通 彰、渡辺 仁、大橋裕一、真鍋禮三 (大阪大)
21. 乾燥ペプシン処理ヒト免疫グロブリンによる実質型角膜ヘルペスの治療経験
小峯輝男、川田博文、山野智敬 (太田総合病院)
22. 9- [(1,3-dihydroxy-2-propoxy) methyl] -guanine(DHPG)の in vivo に
おける抗ヘルペス作用
井上幸次、下村嘉一、大橋裕一、真鍋禮三 (大阪大)、上田重晴、
加藤四郎 (同微研感染病理部門)、山田雅夫 (岡山大ウイルス)
23. IDU 耐性ウサギ角膜ヘルペスに対する組換え型ヒト白血球インターフェロンの
点眼効果
寺西秀人、砂金玲子、小林俊策 (山口大)

■ 特別講演：

「最近の眼感染症の諸問題」

三井幸彦 (徳島大)

■ 一般口演

24. 眼部帯状ヘルペス患者の細胞性免疫能
田中康夫、張野正誉、原 二郎 (近畿中央病院)
25. 水痘罹患後に角膜実質浮腫をきたした 1 例の specular microscope による観察
笠置裕子、内田幸男 (女子医大)

26. サイトメガロウイルス眼内炎の検討ー眼内接種後のウイルス抗原の消長ー
狩野宏成、佐々木一之（金沢医大）
27. 結膜炎由来の代表的アデノウイルスの疫学的研究
ー特に DNA 切断解析を中心としてー
中園直樹（北海道大公衆衛生）、藤井伸一、任 常山、藤永 蕙
（札幌医大ガン研分子生物）、吉井孝男、山崎修道（予研）、
宮島輝英（北海道大）
28. 蛍光抗体法により診断されたクラミジア眼症の 4 例
中川 尚、内田幸男（女子医大）、石古博昭（三菱油化）
29. 日大板橋病院眼科外来患者に対する Micro Trak Direct Test による Chlamydia
Trachomatis 検出について
寺田久雄（日本大）、山井志朗（神奈川県衛生研究所細菌病理部）

7 月 14 日(日)9 : 00ー12 : 30

■ 教育講演 :

1. 結膜、角膜からの塗抹標本の作り方と見方
金子行子（女子医大）
2. 最近の流行性の結膜炎の病像と病原体について
青木功喜（札幌市）
3. 角膜ヘルペスの治療についての最近の話題
塩田 洋（徳島大）
4. 眼感染症における抗生剤の使い方
大石正夫（新潟大）